



社会的ジレンマと行動科学

- 個人対全体を乗り越えるには -

2/26 月
15:00-16:30

社会的ジレンマとは、一人一人が自分の利益だけを考えて行動すると、全体にとって望ましくない結果が生まれてしまうような状況のことです。私たちの生活の中にも、環境問題から飲み会の幹事決めまで、様々なところに社会的ジレンマが存在しています。

今回のCuter Caféでは、社会心理学をはじめとした行動科学の知見を紹介するとともに、社会的ジレンマを疑似的に体験し、その構造や解決策を考えます。

※この企画は、2023年11月11日(土)に福岡市科学館で実施したサイエンスカフェ「みんなのために損できる?～社会的ジレンマの不思議～」の内容を、九州大学の構成員向けに再構成したものです。

会場

オンライン(Zoomミーティング) [50名]

対象

九州大学に所属する学部生・大学院生・教職員

- 集団の中での人の行動に興味がある方
- 新しい視点で物事を考えてみたい方
- 社会問題の解決に興味がある方
- 社会心理学のワークショップを体験したい方

講師

大坪 快 人間環境学府行動システム専攻修士課程2年、図書館TA(Cuter)



参加申込

図書館ウェブサイト > イベント または 右記のQRコード
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/cutercafe45>

